

ホルモンバランス

生体の機能を調節するホルモン

成長ホルモンと性ホルモンは老化と深い関係！！

ホルモンは血液中にごく微量に存在し、血流にのって全身に巡っています。

あるホルモンに反応するのは、そのホルモンに対する受容体を持つ標的細胞だけで、各ホルモンは自分の標的細胞を目指して、全身を巡っているのです。そして、標的細胞に達すると、その細胞固有の働きを刺激、あるいは抑制することによって、健康な状態を維持するように働きます。

血液や体液の成分、血圧など、私たちの体には一定に保っておくべきものがたくさんあります。そのほとんどにホルモンが関わっているため、ホルモンの分泌に異常を来すと、健康な状態を維持できなくなり、全身に何らかの症状を来してしまうのです。

ホルモン分泌を調節するためのホルモンがあり、その司令塔は「視床下部」と「下垂体」です。

脳の視床下部は体温や食欲の調節、睡眠や覚醒などを司っており、生命の中枢ともいえる場所です。

この視床下部から分泌されるホルモンは、下垂体ホルモンを分泌させます。

下垂体ホルモンは抹消の内分泌腺をコントロールする作用があります。

ホルモンというのは、ごく微量で作用しますが、それだけにほんの少しの不足や過剰が、全身の不調につながります。そして、全身のありとあらゆる臓器や器官がホルモンによってコントロールさせているため、症状は全身に及び、かつ多彩です。

健康回復には、ホルモンバランスを正常のするためヒーリングが必要となります。

